

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・海外株式・ファンド(DC年金)」は、第18期の決算を行いました。当ファンドは、海外の取引所に上場されている株式に投資する投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行いました。

ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

フィデリティ・海外株式・ファンド (DC年金)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第18期(決算日 2023年10月25日)
作成対象期間(2022年10月26日～2023年10月25日)

日経新聞掲載名: DC外株

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

第18期末
(決算日 2023年10月25日)

基準価額	32,471円
純資産総額	4,344百万円
第18期 (2022年10月26日～2023年10月25日)	
騰落率	17.3%
分配金合計	0円

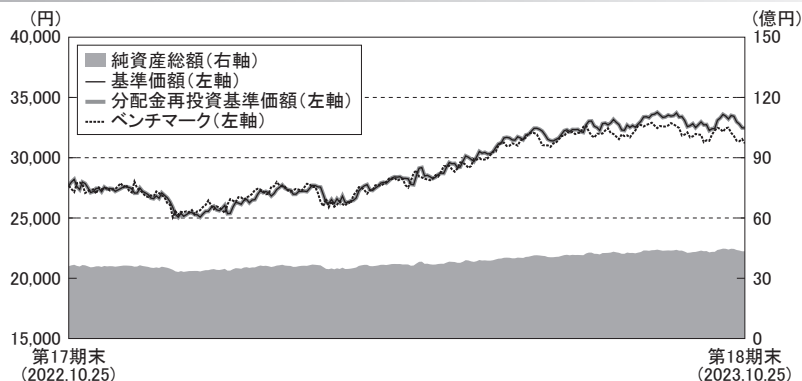
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第 18 期 首: 27,671円

第 18 期 末: 32,471円 (既払分配金0円)

騰 落 率: 17.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2022年10月25日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※ベンチマークは「MSCI コクサイ・インデックス (配当金込、円換算、ヘッジなし)」です。

※ベンチマークの詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

② 基準価額の主な変動要因

当ファンドの騰落率は+17.3%でした。

プラス要因

- ・ 世界の株式が堅調に推移したこと。
- ・ 円に対して米ドル、英ポンド、豪ドル、ユーロが上昇したこと。

マイナス要因

- ・ 特になし。

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要
	2022年10月26日～2023年10月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	284円	0.968%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は29,317円です。
(投信会社)	(32)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(242)	(0.825)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(10)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	13	0.044	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(3)	(0.010)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(9)	(0.032)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	297	1.012	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

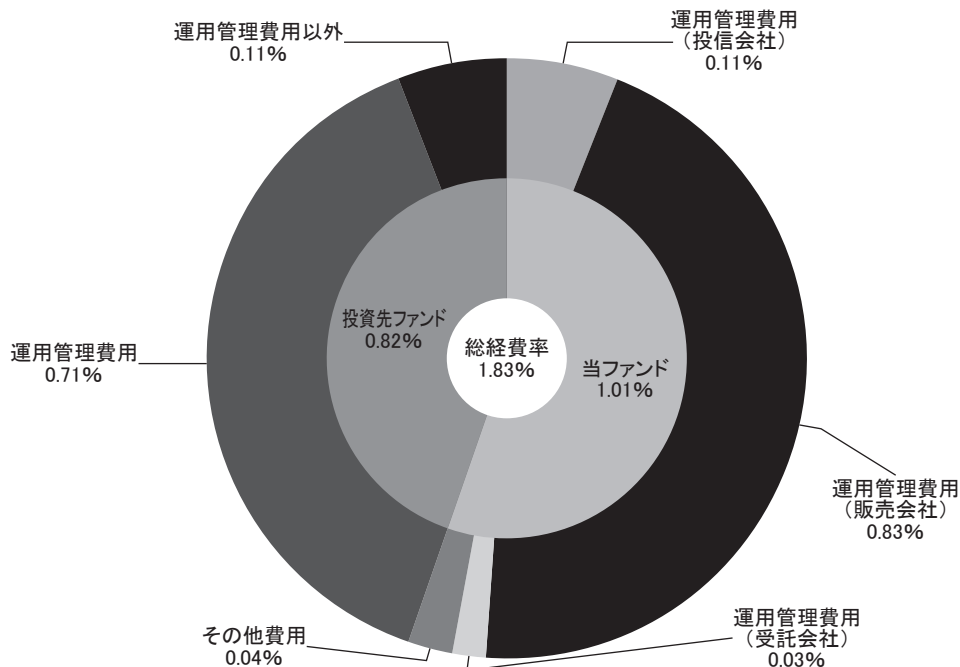
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.83%です。



総経費率(①+②+③)	1.83%
①当ファンドの費用の比率	1.01%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

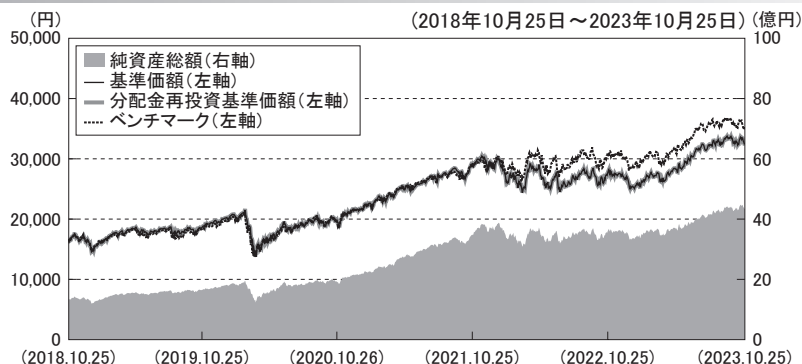
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2018年10月25日 期首	2019年10月25日 決算日	2020年10月26日 決算日	2021年10月25日 決算日	2022年10月25日 決算日	2023年10月25日 決算日
基準価額 (円)	16,717	18,591	19,842	29,160	27,671	32,471
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.2	6.7	47.0	△5.1	17.3
ベンチマーク騰落率 (%)	—	9.9	6.6	47.4	7.2	12.7
純資産総額 (百万円)	1,345	1,650	1,937	3,488	3,601	4,344

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年10月25日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※ベンチマークは「MSCI コクサイ・インデックス(配当金込、円換算、ヘッジなし)」です。

※ベンチマークの詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

⑤投資環境

当期の先進国株式市場は上昇しました。期初から2022年年末にかけては、インフレの鈍化や景気減速が見込まれれば、各国中央銀行が金融引き締めペースを緩めるのではないかとの観測が浮上し、市場は堅調に推移しました。米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）は2022年12月に利上げペースを減速させましたが、インフレ目標を上回る水準の物価上昇が続いたことなどから、主要中央銀行がタカ派的な姿勢を維持したため、市場のボラティリティが上昇しました。2023年3月には、米国のシリコンバレー銀行の経営破綻をきっかけに銀行セクターの混乱が生じ、金融システムの健全性に対する懸念が広がりましたが、主要中央銀行が迅速に対応したことなどから、市場は落ち着きを取り戻しました。期後半に入ると、先進国のインフレ率に鎮静化の兆しが見え、市場では主要中央銀行が金融引き締めのペースをさらに緩めるのではないかとの期待が高まりました。FRBは6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げの休止を決めた他、ECBは、5月の会合で利上げを継続したものの、利上げ幅を縮小しました。また、堅調な企業業績や米国の4-6月期のGDP（国内総生産）の伸び率など、経済の底堅さが示され、市場では世界経済のソフトランディング（軟着陸）に対する期待が高まり、投資家心理を下支えしました。しかし、インフレ率が依然として目標よりも高い水準で推移していることから、主要中央銀行は積極的な金融引き締め姿勢を維持し、高い金利水準が長期化する可能性が高いとの見方を示唆しました。期終盤は、中東情勢の緊迫化に伴い、原油供給に混乱が生じるのではないかとの懸念が投資家心理を悪化させました。こうした状況の下、日本が大幅に上昇しました。また業種別では、コミュニケーション・サービス及び情報技術が最も上昇しました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・海外株式・マザーファンド受益証券を組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行いました。マザーファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて、実質的に、米国、欧州、アジア・パシフィック地域の株式への投資を行いました。各地域への配分については、基本的にベンチマークであるMSCI コクサイ・インデックスから大きく乖離させず、主な付加価値の源泉は、各組入れファンドの銘柄選択に求めています。

当期末現在で組入れている投資信託証券は以下の通りでした。

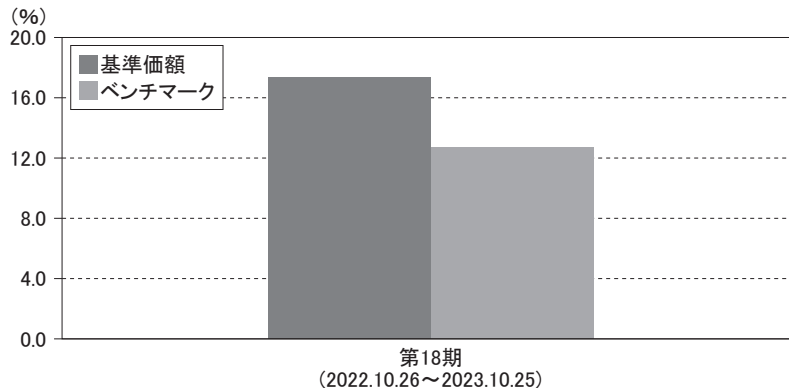
組入れ投資信託証券	組入れ比率	
	前期末 (2022/10/25)	当期末 (2023/10/25)
【北米】		
フィデリティ・インスティテューショナル・米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	78.7%	78.3%
【欧州】		
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモール・カンパニー・ファンド	3.3%	3.5%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	13.9%	14.5%
【アジア・パシフィック】		
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	2.5%	2.4%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.8%	0.8%

※組入れ比率は、マザーファンドの対純資産総額比率

⑦ベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注)基準価額の騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

※ベンチマークは「MSCI コクサイ・インデックス(配当金込、円換算、ヘッジなし)」です。

※ベンチマークの詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

当ファンドの騰落率はベンチマークの騰落率の+12.7%を上回りました。

プラス要因

- ・コミュニケーション・サービス、ヘルスケアにおける銘柄選択
- ・米国株式戦略の選択

マイナス要因

- ・アジア株式戦略の選択
- ・エネルギー、ヘルスケアのオーバーウェイト

⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期
	2022年10月26日～2023年10月25日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	25,012

- *「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、フィデリティ・海外株式・マザーファンド受益証券を組入れることにより、実質的な運用をマザーファンドにて行います。マザーファンドにおいては、各投資信託証券への投資を通じ、ベンチマークの比率から大きく乖離しない形で海外の株式に分散投資を行うことにより、投資信託財産の成長を追求してまいります。各投資対象ファンドにおきましては、今後も、グローバルな調査ネットワークを活用し、徹底した企業調査に基づき魅力的な銘柄を発掘し、ファンドの付加価値を高める努力をしまいる所存です。

3. お知らせ

該当事項はありません。

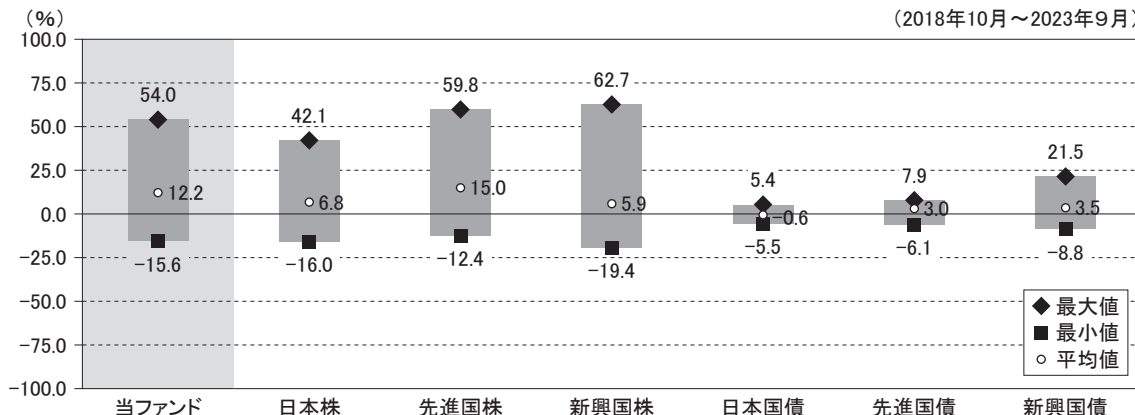
4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則無期限です。	
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	主として、フィデリティ・海外株式・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・海外株式・マザーファンド	海外の取引所に上場されている株式に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●主として、フィデリティ・海外株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、海外の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資する投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。●マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券への投資を通じて行います。	
分配方針	毎決算時(原則10月25日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



(注1) 2018年10月～2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

①組入資産の内容

組入上位ファンド

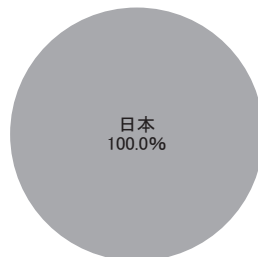
(2023年10月25日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・海外株式・マザーファンド	100.0%
組入ファンド数	1ファンド

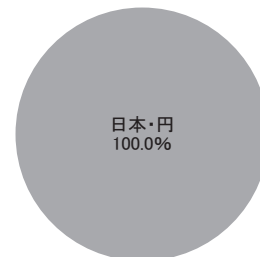
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

項目	当期末
	2023年10月25日
純資産総額	4,344,111,784円
受益権総口数	1,337,857,345口
1万口当たり基準価額	32,471円

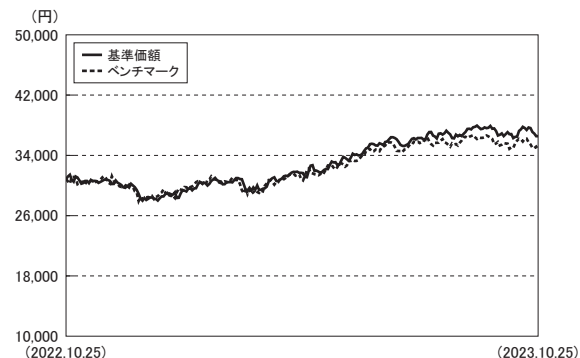
(注) 当期中における追加設定元本額は353,497,567円、同解約元本額は317,238,853円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・海外株式・マザーファンド

(別途記載がない限り2023年10月25日現在)

基準価額の推移



組入上位ファンド

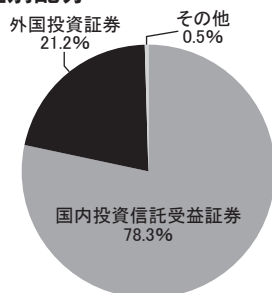
ファンド名	組入比率
フィデリティ・インスティテューショナル・米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	78.3%
フィデリティ・ファンズ-ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	14.5
フィデリティ・ファンズ-ヨーロッパ・スモール・カンパニーズ・ファンド	3.5
フィデリティ・ファンズ-アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	2.4
フィデリティ・ファンズ-サステナブル・アジア株式ファンド	0.8
組入ファンド数	5ファンド

1万口当たりの費用明細

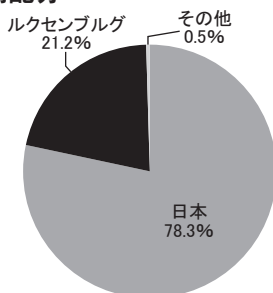
(2022年10月26日～2023年10月25日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	-円
(b) 有価証券取引税	-
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

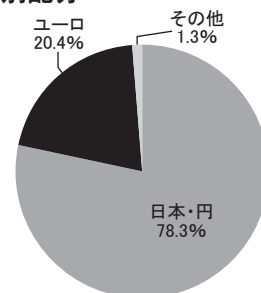
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) ベンチマークは、2022年10月25日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

(注3) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注4) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注5) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

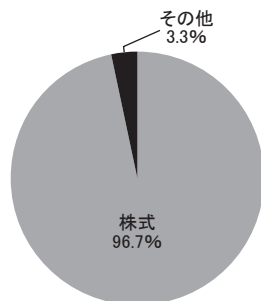
※マザーファンドのベンチマークは「MSCI コクサイ・インデックス(配当金込、円換算、ヘッジなし)」です。

※ベンチマークの詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

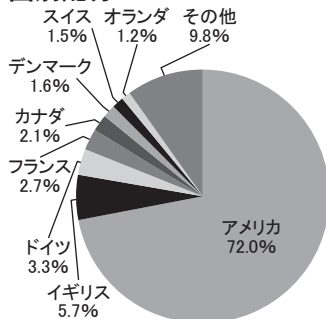
(参考)

フィデリティ・海外株式・マザーファンドが直接投資しているのは投資信託証券ですが、下記はその先の投資資産を表示しております。

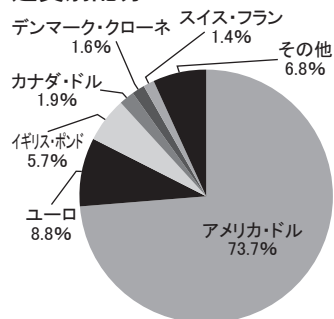
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、国・地域を表示しています。

* フィデリティ投信が2023年10月25日時点の、取得可能な投資対象ファンドのデータに基づき作成しています。運用報告書(全体版)に記載されているデータとは異なります。

組入上位ファンドにおける直近の決算日時点の組入上位10銘柄

●フィデリティ・インスティテューショナル・米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

(2023年5月22日現在)

	銘柄名	通貨	比率
1	META PLATFORMS INC CL A	アメリカドル	7.7%
2	BERKSHIRE HATHAWAY INC CL A	アメリカドル	6.9
3	MICROSOFT CORP	アメリカドル	5.3
4	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカドル	4.4
5	APPLE INC	アメリカドル	4.1
6	NVIDIA CORP	アメリカドル	3.5
7	EXXON MOBIL CORP	アメリカドル	3.3
8	AMAZON COM INC	アメリカドル	3.1
9	VERTEX PHARMACEUTICALS INC	アメリカドル	2.6
10	LILLY (ELI) & CO	アメリカドル	2.4

(注)上記は、フィデリティ・インスティテューショナル・米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の組入資産であるフィデリティ・米国株式マザーファンドの直前の作成期の内容です。

●フィデリティ・ファンズーヨーロピアン・ダイナミック・グロース・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Novo Nordisk (B) (DK)	デンマーク	ヘルスケア	6.0%
2	RELX	イギリス	資本財・サービス	4.4
3	SAP	ドイツ	情報技術	4.4
4	Merck	ドイツ	ヘルスケア	4.3
5	Experian	アイルランド	資本財・サービス	4.2
6	Infineon Technologies	ドイツ	情報技術	3.7
7	Air Liquide	フランス	素材	3.3
8	Rentokil Initial	イギリス	資本財・サービス	2.9
9	Coloplast (B)	デンマーク	ヘルスケア	2.9
10	Edenred	フランス	金融	2.3

●フィデリティ・ファンズーヨーロピアン・スモラー・カンパニーズ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	VZ Holding	スイス	金融	2.2%
2	Xtrackers Euro Stoxx 50 UCITS ETF	ルクセンブルグ	金融	1.7
3	Coats Group	イギリス	一般消費財・サービス	1.6
4	Oakley Capital Investments Fund	バミューダ	クローズエンド型ファンド	1.5
5	Alpha Group Intentional	イギリス	金融	1.5
6	Balfour Beatty	イギリス	資本財・サービス	1.4
7	Intermediate Capital Group	イギリス	金融	1.4
8	ASR Nederland	オランダ	金融	1.4
9	Ipsos	フランス	一般消費財・サービス	1.4
10	KBC Ancora	ベルギー	金融	1.3

●フィデリティ・ファンズーアジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Franco-Nevada (USA)	カナダ	素材	7.5%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing	台湾	情報技術	7.3
3	ASML Holding	オランダ	情報技術	6.0
4	HDFC Bank	インド	金融	4.9
5	SK Hynix	韓国	情報技術	4.7
6	CSL	オーストラリア	ヘルスケア	4.4
7	AIA Group	香港	金融	4.2
8	Kweichow Moutai (A)	中国	生活必需品	4.0
9	James Hardie Industries CDI	アイルランド	素材	4.0
10	Techtronic Industries	香港	資本財・サービス	4.0

●フィデリティ・ファンズーサステナブル・アジア株式ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2023年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Samsung Electronics	韓国	情報技術	10.1%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing	台湾	情報技術	8.7
3	AIA Group	香港	金融	8.4
4	ICICI Bank	インド	金融	4.8
5	Axis Bank	インド	金融	4.5
6	Meituan (B)	中国	一般消費財・サービス	2.7
7	China Resources Land	香港	不動産	2.7
8	Alibaba Group Holding (CN)	中国	一般消費財・サービス	2.5
9	CP ALL (F)	タイ	生活必需品	2.3
10	Tencent Holdings	中国	情報技術	2.0

指数に関して

●ベンチマークについて

- ・MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。

※MSCI コクサイ・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

※MSCI コクサイ・インデックス(配当金込、円換算、ヘッジなし)は、WM Reutersが発表する換算レートをもとに委託会社が算出しています。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複製、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複製・転載を禁じます。

